



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 4 日

上場会社名 日清食品株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 2897

URL <http://www.nissinfoods.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 安藤 宏基

問合せ先責任者 役職名 取締役財務部長兼  
経営戦略・経営管理担当

氏名 柳田 隆久

TEL (06) 6305-7711

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期 第3四半期	302,505	24.4	21,700	△16.1	25,856	△10.4	12,160	△27.6
19年3月期 第3四半期	243,125	0.7	25,868	9.6	28,866	△3.9	16,799	26.7
19年3月期	358,238		33,734		37,843		18,968	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期 第3四半期	99.46	—
19年3月期 第3四半期	138.35	—
19年3月期	156.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期 第3四半期	420,672	289,201	67.2	2,311.25
19年3月期 第3四半期	376,568	280,350	72.8	2,258.10
19年3月期	410,407	288,476	68.7	2,304.40

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期 第3四半期	28,670	△7,498	△6,371	91,253
19年3月期 第3四半期	14,690	△23,034	△6,009	47,506
19年3月期	26,974	△4,770	△7,421	76,694

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	35.00	15.00	50.00
20年3月期	25.00		50.00
20年3月期(予想)		25.00	

## 3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	394,000	10.0	26,500	△21.4	31,000	△18.1	13,500	△28.8	110.42

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 10 月 31 日に公表した業績予想につきまして変更はありませんが、潜在的なリスクや不確実性  
その他要因が内包されています。従って、実際の業績は上記予想と異なる場合があります。なお上記業  
績予想に関する事項は 4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧  
下さい。

**【定性的情報・財務諸表等】****1. 連結経営成績に関する定性的情報**

国内の即席めん業界は、近年、少子・高齢化による若年ユーザー層の減少により、市場規模が横ばいで推移しているため、大幅な需要の拡大が見込みにくい環境にあります。さらに、原油や小麦粉価格の高騰に起因する原材料価格の上昇、販売環境面における小売流通業界からの廉価販売要請や、競合商品との競争が各社の収益を大きく圧迫しています。このような中、即席めんメーカー各社は、消費者のニーズを捉えた新製品の開発・発売による販売シェアアップに活路を見出しています。

当社グループにおきましては、引続き消費者の皆様へ安全・安心な製品を提供するということを第一の使命として考え、独自に開発した残留農薬・動物用医薬品の検査システムを駆使し、使用原材料の安全確保に努めるとともに、多様化する消費者ニーズを掘起こし、即席めん市場を活性化させる積極的な販売活動を実施しました。

当第3四半期までの販売状況としましては、「チキンラーメン」シリーズ、「明星チャルメラコレクション 醤油とんこつ5食パック」などが袋めんの増収に貢献しました。また、カップめんでは、11月に新発売し好調な売行き「ミルクシーフードヌードル」を含む「カップヌードル」シリーズのほか、春先から初夏にかけて需要が高まったカップ焼そばジャンルの「日清焼そば U.F.O.」や「一平ちゃん夜店の焼そば」のシリーズが大きく売上を伸ばしました。新カテゴリー製品の電子レンジ調理型製品として投入した「日清 Chin」シリーズ、「日清 Spa 王レンジタイプ」シリーズは、簡単調理で本格的な食感を求めるユーザーの支持をいただきました。

チルド・冷凍食品では、チルドの主力製品である「日清焼そば」は、商品価値や収益性を重視した販売を実施したため伸び悩みましたが、チルド調理めんの売上が加わったことが同ジャンルの増収に貢献しました。冷凍では、高付加価値製品の「冷凍 Spa 王プレミアムディナー」シリーズが好調な売上を示しました。

その他の事業では、乳酸菌飲料「ピルクル」、シリアル食品「シスコーン BIG」と新たに加わった外食事業が当部門の増収に寄与しました。

当第3四半期までの業績は、前期に子会社化した明星食品が連結子会社に加わったことが寄与し、売上高は3,025億5百万円（前年同期比24.4%増）と前年同期を大幅に上回る増収となりました。しかし、利益面では、退職給付に係る数理計算上のマイナス差異の減少や原材料価格の上昇などの影響もあり営業利益は217億円（前年同期比16.1%減）、経常利益は258億56百万円（前年同期比10.4%減）、当四半期純利益は121億60百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末より102億64百万円増加し、4,206億72百万円となりました。この主な要因は売掛金の増加によるものです。

負債については、前期末より95億39百万円増加し、1,314億70百万円となりました。この主な要因は未払金及び買掛金の増加によるものです。

少数株主持分を含む純資産については、前期末より7億25百万円増加し、2,892億1百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

なお、自己資本比率は前期末の68.7%から67.2%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年10月31日に公表した業績予想につきまして変更はありません。売上高は、即席めんの価格改定に伴う一時的な売上数量の減少等があるものの、明星食品株式会社の年間の売上高が連結されるため、3,940億円（前期比10.0%増）となる見通しです。利益面では、国内販売の低迷に、原材料価格の高騰によるコストアップ等の要因も加わり、営業利益は265億円（前期比21.4%減）、経常利益は310億円（前期比18.1%減）となる見通しです。当期純利益では、さらに、ニッシンフーズ(U.S.A.)Co., Inc.の特別損失などの影響も加わるため、135億円（前期比28.8%減）となる見込みです。

なお、海外子会社の業績予想に使用した主要な為替レートは、115円/米ドル、15円/香港ドル、15円/中国元です。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等については、簡便的な方法を採用しております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約)四半期連結財務諸表

## (1) (要約)四半期連結貸借対照表

科目	期別		前第3四半期 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期 (平成19年12月31日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
I 流動資産	128,830	34.2	185,591	44.1	159,540	38.9			26,051
現金及び預金	48,314		71,270		61,688				
受取手形及び売掛金	48,301		59,019		53,358				
有価証券	13,227		31,666		21,617				
棚卸資産	12,101		14,355		14,489				
その他	7,135		9,466		8,645				
貸倒引当金	△250		△186		△258				
II 固定資産	247,737	65.8	235,080	55.9	250,867	61.1			△15,786
有形固定資産	66,400	17.6	92,167	21.9	93,633	22.8			△1,466
無形固定資産	578	0.2	4,490	1.1	5,022	1.2			△532
投資その他の資産	180,759	48.0	138,422	32.9	152,210	37.1			△13,788
投資有価証券	164,495		123,920		137,143				
出資金	9,987		8,530		8,507				
長期貸付金	486		180		487				
その他	5,798		5,836		6,120				
貸倒引当金	△9		△45		△48				
資産合計	376,568	100.0	420,672	100.0	410,407	100.0			10,264
(負債の部)									
I 流動負債	80,421	21.4	108,179	25.7	95,837	23.3			12,342
支払手形及び買掛金	37,957		48,641		43,324				
短期借入金	2,956		2,714		3,791				
未払金	23,873		38,049		26,545				
未払法人税等	5,348		4,888		7,890				
その他	10,286		13,885		14,285				
II 固定負債	15,795	4.2	23,291	5.5	26,093	6.4			△2,802
退職給付引当金	7,917		8,769		8,946				
その他	7,878		14,521		17,147				
負債合計	96,217	25.6	131,470	31.2	121,931	29.7			9,539
(純資産の部)									
I 株主資本	271,479	72.1	284,369	67.6	277,111	67.5			7,258
資本金	25,122	6.7	25,122	6.0	25,122	6.1			
資本剰余金	48,416	12.9	49,754	11.8	49,754	12.1			
利益剰余金	214,567	57.0	223,834	53.2	216,553	52.8			
自己株式	△16,628	△4.5	△14,342	△3.4	△14,318	△3.5			
II 評価・換算差額等	2,718	0.7	△1,794	△0.4	4,639	1.2			△6,434
その他有価証券評価差額金	9,641	2.5	5,120	1.2	10,921	2.7			
土地再評価差額金	△7,568	△2.0	△7,532	△1.8	△7,532	△1.8			
為替換算調整勘定	645	0.2	617	0.2	1,251	0.3			
III 少数株主持分	6,153	1.6	6,626	1.6	6,724	1.6			△98
純資産合計	280,350	74.4	289,201	68.8	288,476	70.3			725
負債純資産合計	376,568	100.0	420,672	100.0	410,407	100.0			10,264

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	期 別		前第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日		当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		増 減 額	(参考)前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比			
I 売 上 高	243,125	100.0	302,505	100.0	59,380		358,238	100.0	
II 売 上 原 価	119,047	49.0	150,654	49.8	31,606		175,296	48.9	
売 上 総 利 益	124,077	51.0	151,851	50.2	27,773		182,941	51.1	
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	98,209	40.4	130,151	43.0	31,941		149,207	41.7	
営 業 利 益	25,868	10.6	21,700	7.2	△4,168		33,734	9.4	
IV 営 業 外 収 益	3,231	1.4	4,431	1.4	1,200		4,598	1.3	
受取利息及び配当金	2,309		2,648				3,112		
有価証券売却益	52		154				103		
持分法による投資利益	366		886				475		
そ の 他	502		741				907		
V 営 業 外 費 用	232	0.1	275	0.1	42		490	0.1	
経 常 利 益	28,866	11.9	25,856	8.5	△3,010		37,843	10.6	
VI 特 別 利 益	107	0.0	200	0.1	93		785	0.2	
VII 特 別 損 失	1,659	0.7	2,774	0.9	1,114		5,050	1.4	
税金等調整前四半期(当期)純利益	27,314	11.2	23,282	7.7	△4,031		33,578	9.4	
法 人 税 等	10,318	4.2	11,139	3.7	820		14,547	4.1	
少 数 株 主 利 益	196	0.1	△16	△0.0	△213		62	0.0	
四半期(当期)純利益	16,799	6.9	12,160	4.0	△4,639		18,968	5.3	

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	前第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	当第3四半期 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	(参考)前連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
		金 額	金 額	金 額
		百万円	百万円	百万円
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		27,314	23,282	33,578
減価償却費		4,023	5,481	6,187
持分法による投資利益		△366	△886	△475
売上債権の増減額(増加:△)		△10,741	△5,822	△1,746
棚卸資産の増減額(増加:△)		73	48	△223
仕入債務の増減額(減少:△)		3,152	5,379	△38
その他の		△199	10,131	△2,228
小計		23,256	37,614	35,053
法人税等の支払額		△11,188	△12,075	△11,205
その他の		2,621	3,130	3,125
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>14,690</b>	<b>28,670</b>	<b>26,974</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有価証券の取得・売却等(取得:△)		28,382	2,925	38,817
有形固定資産等の取得・売却(取得:△)		△2,932	△5,910	△5,523
投資有価証券等の取得・売却等(取得:△)		△49,772	△5,468	△14,892
その他の		1,287	954	△23,171
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△23,034</b>	<b>△7,498</b>	<b>△4,770</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
配当金の支払額		△6,070	△4,890	△6,070
少数株主への配当金の支払額		△20	△37	△693
その他の		81	△1,443	△656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△6,009</b>	<b>△6,371</b>	<b>△7,421</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		<b>38</b>	<b>△240</b>	<b>91</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>		<b>△14,315</b>	<b>14,558</b>	<b>14,873</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		<b>61,570</b>	<b>76,694</b>	<b>61,570</b>
<b>VII 新規連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>		<b>251</b>	<b>—</b>	<b>251</b>
<b>VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>		<b>47,506</b>	<b>91,253</b>	<b>76,694</b>